

国語Ⅰ・国語Ⅱ

解答番号

1

く

36

《注意》

「国語Ⅰ」の試験問題は、

3ページ～38ページです。

第4問 次の文章を読んで、後の問い(問1〜6)に答えよ。(設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。)

(配点 50)

楚人謂虎為老虫。姑蘇人謂鼠為老虫。余官長洲以事

至婁東宿郵館。滅燭就寢。忽碗碟砉然有声。余問故閤童

答曰：「老虫。」余楚人也，不勝驚錯。曰：「城中安得有此獸？」童曰：

「非他獸，鼠也。」余曰：「鼠何名？」老虫。童謂吳俗相傳爾耳。嗟嗟、

鼠冒老虫之名，至使余驚錯欲走。良足發笑。

然今天下冒虛名一駭俗耳者，不少矣。堂皇之上，端冕垂

紳，印累累而綬若若者，果能遏邪萌，折權貴，摧豪強，歟？牙

帳之內，高冠大劍，左秉鉞，右杖纛者，果能禦群盜，北遏虜

南，遏諸夷，如古孫吳起翦之儔歟？驟而聆其名，赫然喧然、

無<sup>キ</sup>異<sup>ナル</sup>于<sup>ニ</sup>老<sup>ニ</sup>虫<sup>ニ</sup>也。徐<sup>シ</sup>而<sup>シテ</sup>叩<sup>ク</sup>所<sup>レ</sup>挾<sup>ス</sup>止<sup>タ</sup>鼠<sup>ソ</sup>技<sup>ナル</sup>耳。夫<sup>レ</sup>至<sup>リテ</sup>下<sup>ニ</sup>挾<sup>ニ</sup>鼠<sup>技</sup>冒<sup>シ</sup>虎<sup>ノ</sup>

名<sup>ヲ</sup>立<sup>ツ</sup>民<sup>ノ</sup>上<sup>ニ</sup>者<sup>ニ</sup>皆<sup>シ</sup>鼠<sup>輩</sup>上<sup>ニ</sup>天下<sup>ノ</sup>事<sup>ヲ</sup>不<sup>ラ</sup>可<sup>カ</sup>大<sup>ニ</sup>憂<sup>フ</sup>耶<sup>ヤ</sup>。

(江盈科『雪濤小説』による)

(注) 1 姑蘇——吳地方の古いみやこ。ここでは広く吳地方を指す。

2 長洲——吳地方に属する県の名。

3 婁東——吳地方に属する町の名。

4 郵館——宿屋。

5 碗碟——食器。

6 着然——がたがたと音を立てるさま。

7 閹童——門番の少年。

8 堂皇——国政を行う大広間。

9 端冕垂紳——威儀を正した礼装。

10 印累累而綬若若——官職を示す印や玉をたくさんつけ、その組みひもが長くたれているさま。

11 牙帳——大将のいる軍陣。

12 鉞——まさかり。

13 纛——大きな軍旗。

14 孫吳起翦——孫子・呉子・白起・王翦のこと。いずれも春秋戦国時代の軍師・名将。

問 1 傍線部(ア)「忽」・(イ)「不<sub>レ</sub>勝」の読み方として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 28 ・ 29。

(ア) 「忽」

28					
⑤	④	③	②	①	
むしろ	かすかに	ゆるがせに	たちまち	すなはち	

(イ) 「不<sub>レ</sub>勝」

29					
⑤	④	③	②	①	
すぐれずして	すぎずして	まさらずして	かたずして	たへずして	

問 2 波線部①～③の「老虫」はそれぞれ鼠と虎のどちらを指しているか。その組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。解答番号は 30。

- |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|
| ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
| a | a | a | a | a | a |
| 鼠 | 鼠 | 虎 | 虎 | 虎 | 鼠 |
| b | b | b | b | b | b |
| 虎 | 虎 | 虎 | 鼠 | 鼠 | 鼠 |
| c | c | c | c | c | c |
| 鼠 | 虎 | 鼠 | 鼠 | 虎 | 虎 |

問3 傍線部「A「城中安得<sub>レ</sub>有<sub>二</sub>此獸<sub>一</sub>」・D「徐而叩<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>挾」の解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 31 ・ 32。

A 城中安得<sub>レ</sub>有<sub>二</sub>此獸<sub>一</sub>

31

- ① まちに虎がいて安全といえるのだろうか
- ② とりでは安全なので鼠が多いのだろうか
- ③ まちに虎がいるはずがないではないか
- ④ とりでにどうして虎がいるのだろうか
- ⑤ まちに鼠がいるのは当然ではないか

D 徐而叩<sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>挾

32

- ① その性格をじっくりうかがってみると
- ② その持ち物を一つ一つ調べてみると
- ③ その住居をこっそり訪ねてみると
- ④ その特技をそれとなく探ってみると
- ⑤ その力量をだんだんに試してみると

問 4 傍線部 B「至 使 余 驚 錯 欲 走」の返り点の付け方と書き下し文の組合せとして最も適当なものを、次の ① ～ ⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 33。

- ① 至<sub>下</sub>使<sub>二</sub>余 驚 錯<sub>一</sub>欲<sub>レ</sub>走 余をして驚錯せしめ走げんと欲するに至る
- ② 至<sub>レ</sub>使<sub>二</sub>余 驚 錯 欲<sub>レ</sub>走 余をして驚錯して走げんと欲せしむるに至る
- ③ 至<sub>レ</sub>使<sub>二</sub>余 驚 錯<sub>一</sub>欲<sub>レ</sub>走 余をして驚錯せしむるに至り走げんと欲す
- ④ 至<sub>下</sub>使<sub>二</sub>余 驚 錯<sub>一</sub>欲<sub>レ</sub>走 余をして驚錯せしめ走げんと欲せしむるに至る
- ⑤ 至<sub>レ</sub>使<sub>二</sub>余 驚 錯 欲<sub>レ</sub>走 余をして驚錯せんと欲せしむるに至りて走ぐ

問 5 傍線部 C「冒<sub>二</sub>虚名<sub>一</sub>駭<sub>二</sub>俗耳<sub>一</sub>者」とはどのような人物を指すか。最も適当なものを、次の ① ～ ⑤のうちから一つ選べ。 解答番号は 34。

- ① 肩書きは立派だが、中身はたいしたことのない人物。
- ② 他人を非難するばかりで、自分をかえりみない人物。
- ③ 大口をたたくわりに、成果をあげられない人物。
- ④ 清廉潔白をよそおいながら、利権を要求する人物。
- ⑤ 大声で号令をかけるだけで、自分は何もしない人物。

問 6 筆者の主張に合致するものを、次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。解答番号は

35

36

- ① 今の朝廷には、身なりをおごそかに整えた文官や、ものものしい武器や軍旗で身を飾った武官が居丈高にふるまっているが、実際には彼らは偉そうにするだけしか能がなく、このままでは国家の将来が案じられる。
- ② 軍陣にいるときには虎のように威風堂々としたふるまいで外敵を防ぎ、国政をあずかる役所の中では鼠のようにすばやく知恵がはたらいて民の上に立つことができる人物にこそ、天下の事を任せたいものである。
- ③ 地域によつて「老虫」の指す動物が異なるように、同じ言葉がさまざまな意味で使われている混乱した状況では、いくらずぐれた文官や武官をそろえたところで、天下を統一しようとする大きな困難をとまなう。
- ④ 朝廷の高官たちは、威厳ある服装を整えたり立派な武器を備えたりしているが、いざ戦いとなると自分の身の安全ばかりを考えて行動するので、盗賊からも外敵からも、外見は虎だが中身は鼠だとあなどられている。
- ⑤ 昔から名高い文人や武人を多く生んできた楚の地の人から見れば、呉の人は、きらびやかな衣装や勲章を身に付けたり、大げさな防具や武器を備えたりすることを好むばかりで、実際には何の役にも立たない。
- ⑥ 国家の重要な地位にある者は、犯罪が起らないように目を光らせ、相手が権力者であってもひるむことなく不正を摘発するとともに、外敵の脅威に対し自ら兵をひきいて立ち向かう気概をもたねばならない。